

病虫害発生予察情報

6 月月報

平成 27 年 7 月 16 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2015 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	25.4	-0.1	16.5	0.3	20.8	0.3	88.5	297	55.9	106
中旬	26.3	0.5	18.8	1.2	21.9	0.6	66.5	110	35.2	88
下旬	26.8	0.7	18.5	-0.3	22.1	0.0	18.0	27	39.4	142
平均	26.2	0.4	17.9	0.4	21.6	0.3				
合計							173.0	110	130.5	107

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区北の丸公園）

気 温：上・中旬は高く、下旬は平年並だった。

降 水 量：上旬はかなり多く、中・下旬は平年並だった。

日照時間：上・中旬は平年並、下旬はかなり多かった。

上旬：期間のはじめは移動性高気圧に覆われて晴れとなったが、その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となった日もあった。なお、関東甲信地方は6月8日ごろに梅雨入りしたと見られる（速報値）。

中旬：期間を通じて、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日となった。特に、16日は梅雨前線上を低気圧が東進したため大雨となった。

下旬：梅雨前線が本州の南海上に停滞することが多く、晴れの日もあったが、期間のはじめは上空の寒気の影響により、中頃は一時的に北上した前線や低気圧の影響により、雨の日もあった。

2 作物生育概況

（1）イネ

中旬には植付けが終了した。植付け後の生育は順調であった。

（2）野菜類

果菜類：半促成トマト、露地の果菜類についてはおおむね順調な生育であった。スイートコーンの生育も順調であった。エダマメはおおむね順調であったが、中旬以降気温が高めに推移したので、一部で生育が10日程度進んだ。

葉根菜類：施設コマツナの生育はおおむね順調であったが、一部で株の太りがやや劣る傾向であった。キャベツもおおむね順調であるが、一部品種では裂球がみられた。

いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

安芸クイーン、高尾、巨峰すべてで、平年よりもかなり早めの開花始・盛であった（ - 8 ~ 11 日）。

巨 峰	：開花始 5 月 18 日（ - 11 日）	開花盛 5 月 22 日（ - 11 日）
安芸クイーン	：開花始 5 月 18 日（ - 11 日）	開花盛 5 月 22 日（ - 10 日）
高 尾	：開花始 5 月 18 日（ - 8 日）	開花盛 5 月 20 日（ - 10 日）

(4) 茶樹

平年より気温が高く、茶樹の生育は順調で、2 番茶の摘採は例年より早く 20 日頃より始まった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャパネアオカメムシ	< やや少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯における誘殺数は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

トマト

モザイク病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

灰色かび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

葉かび病

< 並 >

発生は平年並であった。

疫病

< 並 >

発生は平年並であった。

白ぶくれ症

< やや多 >

発生はやや多かった。

オンシツコナジラミ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

タバココナジラミ

< 少 >

発生は少なかった。

オオタバコガ

< 少 >

発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病(施設)

< 並 >

発生は平年並であった。

モザイク病

< 少 >

発生は少なかった。

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並であった。

べと病

< やや多 >

発生はやや多かった。

アザミウマ類

< やや多 >

発生はやや多かった。

ナス

アザミウマ類

< やや多 >

発生はやや多かった。

ハダニ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

炭疽病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< やや少 >

成虫の飛来は多かったが、幼虫の発生は少なかった。

カブラハバチ

< やや少 >

成虫の飛来は多かったが、幼虫発生は少なかった。

アザミウマ類

< 少 >

発生は少なかった。

スイートコーン

アワノメイガ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ネギ

べと病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

さび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ネギアザミウマ

< 多 >

発生は多かった。

ネギハモグリバエ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

キャベツ

株腐病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

黒腐病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

コナガ

< やや少 >

発生はやや少なかったが、一部圃場で多かった。

ヨトウガ

< 少 >

発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並であった。

チャドクガ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

利 島：ツバキでトビモンオオエダシャク及びハスオビエダシャクの密度増加傾向が見られた。

八丈島：露地野菜全般でカタツムリ類及びコガネムシ類の発生が多かった。また、ルスカでこうじかび病、レモンでかいよう病の発生が見られた。

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月15日	7月13日	0	0
大田市場	6月15日	7月13日	0	0
板橋市場	6月15日	7月13日	0	0
淀橋市場	6月15日	7月13日	0	0
北足立青果市場	6月15日	7月13日	0	0
青梅青果市場	6月4日	7月9日	0	0
八王子北野市場	6月4日	7月9日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月4日	7月9日	0	0
国立市場	6月4日	7月9日	0	0
東久留米市場	6月4日	7月9日	0	0

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。